



MINE ENGLISH VILLAGE

主な内容

- 令和元年度予算の概要（5月補正版） 2 ～ 3
- 審議内容報告 4 ～ 7
- 一般質問 8 ～ 14
- 令和元年度 第1回議会報告会を開催しました 15
- 9月定例会の日程・編集後記 16

令和元年度予算の概要（5月補正版）

令和元年度の予算（全会計）317 億 8,246.4 万円

本年度当初予算は、人件費や扶助費等の義務的経費や施設管理などの経常的経費を中心とした骨格予算であったため、令和元年第2回（5月）臨時会において、政策的経費を追加した補正予算案が提出され、全会一致で可決しました。

下記に、当初骨格予算と5月補正予算を合算したものを、令和元年度予算としてお示ししています。

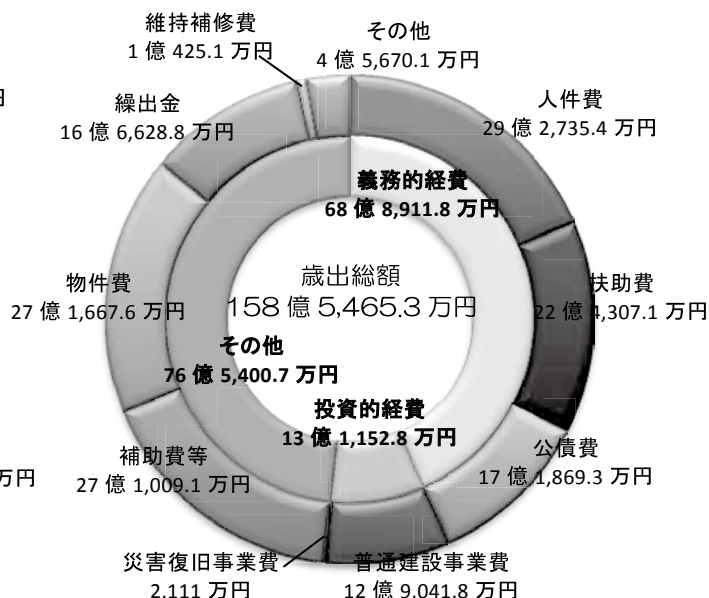
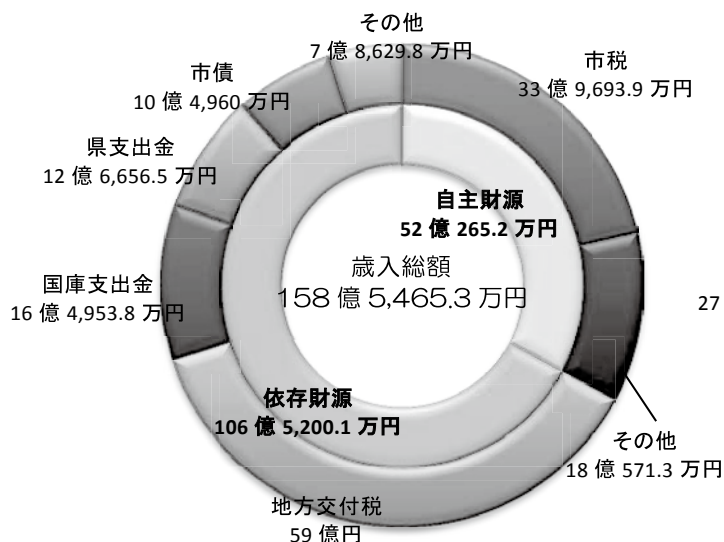
一般会計 158 億 5,465.3 万円

（前年度 165 億 4,000 万円 4.1%減）

市民に身近な福祉、建設、消防、教育など、行政の基本的な事業経費を計上した会計です。

歳入

歳出【性質別】



特別会計 83 億 2,178.2 万円

（前年度 85 億 3,013 万円 2.4%減）

特定の事業を行う場合に、特定の収入（保険料や観光収入など）を財源に、一般会計と区別して管理する会計です。

国民健康保険事業特別会計	34 億 1,297.9 万円
観光事業特別会計	7 億 2,572.4 万円
環境衛生事業特別会計	2,858.5 万円
住宅資金貸付事業特別会計	2,747.8 万円
農業集落排水事業特別会計	2 億 1,711 万円
介護保険事業特別会計	34 億 3,866.3 万円
後期高齢者医療事業特別会計	4 億 7,124.3 万円

公営企業会計 76 億 602.9 万円

（前年度 71 億 8,878.1 万円 5.8%増）

地方公営企業法の規定を適用して独立採算で行う事業の会計です。

水道事業会計	19 億 2,223.9 万円
病院等事業会計	45 億 9,518.4 万円
公共下水道事業会計	10 億 8,860.6 万円

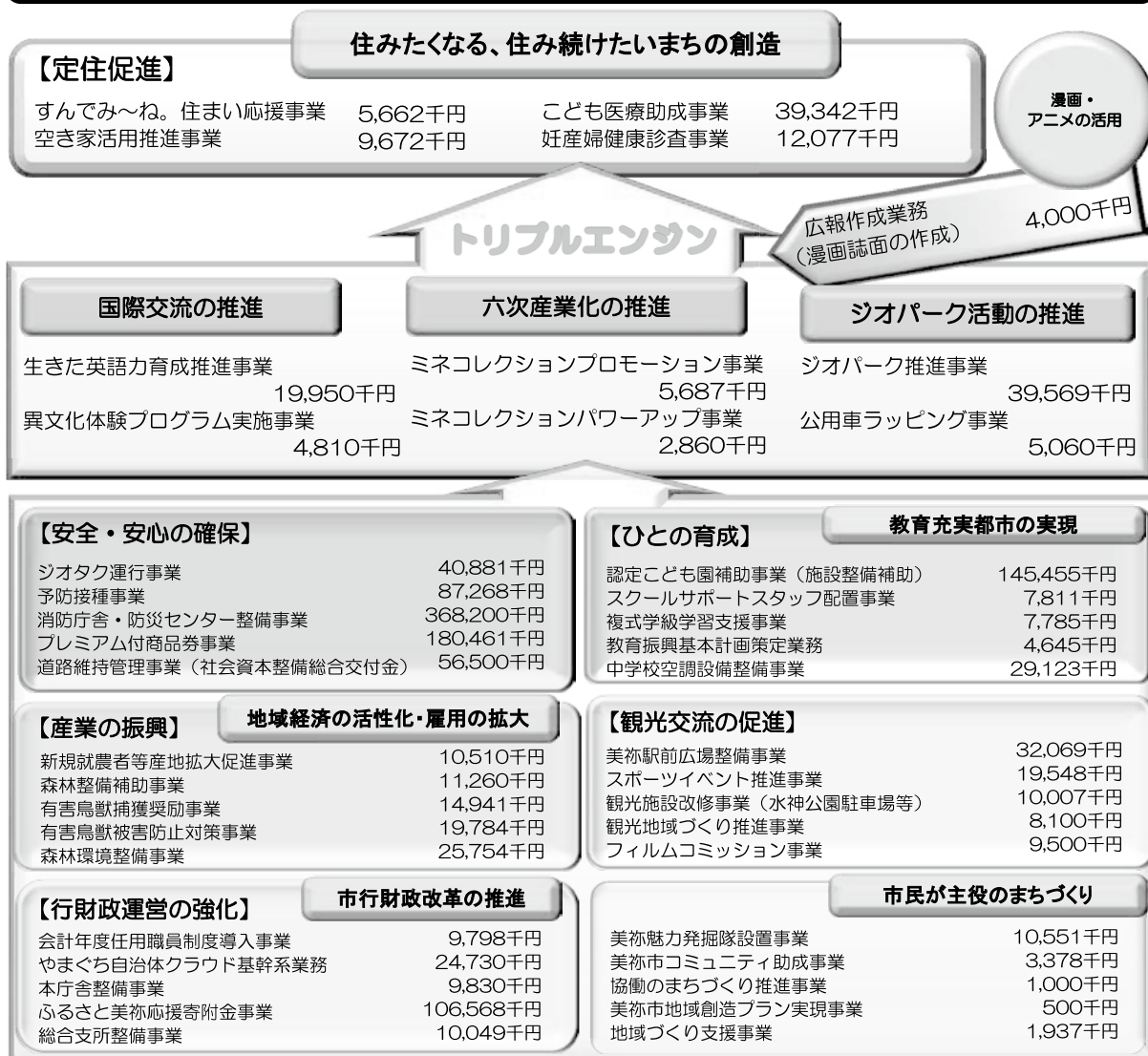
市民一人あたりにすると

一般会計の予算を市民一人あたりにすると約65万円になり、市民生活の向上や地域経済の活性化など、いろいろな施策に取り組んでいます。

※令和元年5月1日時点の住基人口(24,261人)を基に算出しています。



令和元年度に取り組む主な事業 (※紙面の都合上、事業費の大きいものを抜粋しています。)



令和元年第2回(5月)臨時会

会期 5月17日～5月31日(15日間)

第2回臨時会は5月17日に開会し、補正予算案や条例改正案など、市長提出の議案計21件について審議しました。

また、このうち、議案第45号令和元年度美祢市観光事業特別会計補正予算(第1号)では、教育経済委員会と予算決算委員会による連合審査会を開催し、本会議最終日には、議員から本議案に対する附帯決議案を追加提出し、全会一致で可決しました。(詳細は5ページ)

議案の審議結果については以下をご覧ください。

●●● 審議された議案等 ●●●

案件番号	議案名(案件名)	議決結果
議案第40号	専決処分の承認について(美祢市税条例等の一部改正について)	承認
議案第41号	専決処分の承認について(美祢市過疎地域自立促進特別措置法による固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について)	承認
議案第42号	専決処分の承認について(美祢市都市計画税条例の一部改正について)	承認
議案第43号	専決処分の承認について(美祢市国民健康保険税条例の一部改正について)	承認
議案第44号	令和元年度美祢市一般会計補正予算(第1号)	原案可決 (賛成14・反対1)
議案第45号	令和元年度美祢市観光事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (賛成14・反対1)
議案第46号	令和元年度美祢市環境衛生事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第47号	令和元年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第48号	令和元年度美祢市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第49号	令和元年度美祢市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第50号	令和元年度美祢市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第51号	美祢市税条例の一部改正について	原案可決 (賛成13・反対1)
議案第52号	美祢市森林環境整備基金条例の制定について	原案可決 (賛成13・反対1)
議案第53号	美祢市秋吉台観光交流センターの設置及び管理に関する条例等の一部改正について	原案可決 (賛成13・反対1)
議案第54号	美祢市特別天然記念物秋芳洞観覧料徴収条例の一部改正について	原案可決 (賛成13・反対1)
議案第55号	美祢市天然記念物大正洞・景清洞観覧料徴収条例の一部改正について	原案可決 (賛成13・反対1)
議案第56号	美祢市秋芳洞駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛成13・反対1)
議案第57号	美祢市過疎地域自立促進計画の一部変更について	原案可決
議案第58号	桂岩辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の一部変更について	原案可決
議案第59号	美祢市教育委員会委員の任命について	原案可決
議案第60号	美祢市固定資産評価員の選任について	同意
議員提出決議案 第1号	議案第45号 令和元年度美祢市観光事業特別会計補正予算(第1号)に対する附帯決議について	原案可決

議案第45号 令和元年度美祢市観光事業特別会計補正予算（第1号） に対する附帯決議について

議案第45号は、第2回（5月）臨時会に提出され、教育経済委員会に付託されましたが、議案の内容が予算決算委員会とも関連するため、教育経済委員会と予算決算委員会による連合審査会を開催しました。

補正予算案中の一部事業について、臨時会最終日に附帯決議案を提出し、全会一致で可決しました。事業内容及び決議内容については以下のとおりです。

令和元年度美祢市観光事業特別会計補正予算（第1号）

「秋吉台・秋芳洞地域観光地再生事業」

- 1 歳出予算規模 7,000 万円（コンサルティング業務 6,000 万円及び成果報酬（インセンティブ）として報償費を 1,000 万円）計上。

歳入としては、国の地方創生推進交付金を 3,000 万円充当する。

- 2 事業内容

観光事業特別会計の安定的な経営と老朽化した施設改修費を確保し、併せて秋芳洞を中心に周辺地域が活性化し、にぎわいを創出することを目的に、秋芳洞や秋吉台の再ブランディングを行うことで、本市への来訪者数の増加を図る。

成果報酬（インセンティブ）の内容については、秋芳洞・大正洞・景清洞の三洞の洞収入の目標額を超えた部分の約 50%（上限 1,000 万円）を成果報酬として支払う。

附 帯 決 議

秋吉台・秋芳洞地域観光地再生事業について、事業内容や事業計画の検討が不十分であり、現時点で不明確な点が多い状況と言わざるを得ない。

しかし、昨今の入洞者数の推移を鑑みると経営状況は悪化を続け、将来的に損益分岐点を下回る可能性もあり、観光事業の再生に向けた早急な対策を講じるべきと考えており、本事業の必要性は認めているところである。

ついては、事業の実施に向けては、以下の点について特に留意するとともに、随時、議会へ報告することとし、将来に向け発展する観光事業の推進に取り組まれるよう努められたい。

記

- 1 事業内容を十分に検討し、事業規模や期間などを明確にするとともに、全てを公開すること。
- 2 事業者の選定に際しては、専門的知見のある者など外部からの視点を取り入れるとともに、透明性を確保すること。
- 3 インセンティブに係る制度設計を十分に検討し、明確化すること。

令和元年第2回(6月)定例会

会期 6月21日～7月4日(14日間)

第2回定例会は6月21日に開会し、補正予算案や条例改正案など、市長提出の議案計10件と、議員提出の意見書1件について審議しました。

人事案件では、教育長岡崎堅次氏の任期満了に伴い、新たに中本喜弘氏を任命することに同意しました。

議案の審議結果については以下をご覧ください。

●●● 審議された議案等 ●●●

案件番号	議案名(案件名)	議決結果
議案第61号	令和元年度美祢市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第62号	令和元年度美祢市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第63号	令和元年度美祢市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第64号	令和元年度美祢市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (賛成14・反対1)
議案第65号	美祢市報酬及び費用弁償条例の一部改正について	原案可決
議案第66号	美祢市手数料条例の一部改正について	原案可決 (賛成14・反対1)
議案第67号	美祢市病児保育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第68号	美祢市火葬場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第69号	美祢市火災予防条例の一部改正について	原案可決
議案第70号	美祢市教育長の任命について	同意
議員提出意見書 案第1号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について	原案可決

委員会報告

総務民生委員会報告

○議案第51号 美祢市税条例の一部改正について

- ①ふるさと納税制度の見直しによる寄附金税額控除の改正
- ②子どもの貧困に対する個人住民税の非課税措置の導入
- ③消費税率引き上げに伴う軽自動車税の改正

問 このたびの条例改正により、子どもの貧困に対する措置がなされますが、ひとり親世帯にはどのような取り組みがなされるのでしょうか。

答 子どもの貧困に対する非課税対象者の範囲を未婚のひとり親にも拡大し、令和3年度分からの個人住民税を非課税とします。

○議案第68号 美祢市火葬場の設置及び
管理に関する条例の一部改正について

美祢市斎場「ゆうすげ苑」並びに船窪山
斎場の施設管理基準の見直しを行い、休業
日及び施設使用料について改正する。

問 休業日を設けることで、ひと月分の稼
働率が変わってきますが、指定管理料に
は影響するのでしょうか。

答 休業日を設けても、火葬の受付業務な
どは行っており、指定管理料については
あまり影響がないものと思っています。

教育経済委員会報告

○議案第52号 美祢市森林環境整備基金
条例の制定について

森林環境税及び森林環境譲与税の創設に
伴い、市に交付される譲与税を森林整備及
びその促進に関する費用に充てるため、計
画的に森林環境の整備等に必要な資金を積
み立てることを目的に、基金条例を制定す
る。

問 今年度交付される譲与税の使途につ
いて伺います。

答 基金に積み立てるほか、譲与税に充て
るべき対象森林（経営の行われていない
私有林、人工林）を調査し、その区域を集積し
ていく予定です。

○議案第54号 美祢市特別天然記念物秋
芳洞観覧料徴収条例の一部改正について

消費税率の改定及び人件費や改修経費の
増加が見込まれる中で、財政の健全性を確
保するため、秋芳洞観覧料を改定する。

問 観覧料の値上げによって、入洞者数に
どのような影響を与えるとお考えでしょ
うか。

答 入洞者数の減少があるかもしれませんが
が、施設の老朽化に対する投資をしてい
かなければなりません。安全対策のみならず、
より魅力を持たせるための投資が必要であると
考えていますので、この値上げは必要であると
考えています。

予算決算委員会報告

○議案第44号 令和元年度美祢市一般会
計補正予算（第1号）

問 市民会館横にあるSLを美祢駅前ポケッ
トパークに移設予定とのことですが、今
後のまちづくりの中で、SLの移設はどのような
位置づけなのでしょう。

答 ジオパークの「黒」の象徴として、美祢
市に来訪される方に多く見ていただける
ところに移設しようというものです。

地域拠点のまちづくりについては、基本計画
が10月に完成する予定です。その計画に基づい
て、今後進めてまいります。



SLを移転する予定の美祢駅前ポケットパーク



(無所属)

な の とも かず
猶野 智和 議員

1 秋吉台地域観光事業について

問 秋芳洞の入洞料と周辺市営駐車場の値上げについて、お尋ねします。

答 消費税率の引き上げに伴い、近年の人件費や施設改修経費の増加が見込まれる中で、観光事業特別会計の財政の健全性を確保するため、本年10月1日から料金改定を行うものです。

問 秋吉台・秋芳洞地域観光地再生事業について、お尋ねします。

答 秋芳洞へ安定的な入洞者を確保することで、老朽化した施設の改修を計画的に行うための原資の確保と秋吉台・秋芳洞地域のにぎわいを創出することを目的としています。

問 廃墟(はいきょ)化した民間施設の撤去について、お尋ねします。

答 平成27年5月に施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」により、本市においても本格的な取り組みを進めています。

他市の先進事例等も参考にしながら、市として総合的に判断し、スピード感をもって、今後の方針や具体的施策などを慎重に検討してまいりたいと考えています。

2 博物館等施設将来構想について

問 博物館等施設将来構想検討事業の進捗状況について、お尋ねします。

答 「美祢市立博物館等施設将来構想検討委員会」を新たに立ち上げ、検討委員会設置要綱の制定と委員の委嘱を行い、本年2月に第1回目の検討委員会を開催し、各施設の概要説明と現地視察を行いました。

今後は集約した意見等を分析し、年度内には将来構想を取りまとめたいと考えています。

問 新たな強い求心力を持つ観光エリアの創成について、お尋ねします。

答 博物館構想は長い年月をかけていろいろ検討していますが、巨額な投資が必要となることから、美祢市単独では難しいと思っています。

まず、検討委員会で十分検討し、国や県にしっかりと要望して、実現に向けて取り組んでまいりたいと思っています。

3 美祢市新総合支所庁舎等整備基本構想について

問 構想の概要について、お尋ねします。

答 基本方針として、美東地域には、美東総合支所と大田公民館、美東図書館の複合施設、秋芳地域には、秋芳総合支所と秋吉公民館、秋芳図書館の複合施設を建設するというものです。

合併推進債の適用期限である令和4年度末までに整備する計画としています。

4 美祢市フィルムコミッション協会の活動について

問 美祢市フィルムコミッション協会の活動について、お尋ねします。

答 平成30年度は、CM撮影が1件、番組撮影が5件、さらに一昨年撮影した映画が国内の映画館で上映されました。

本年度は、本市で完結する新作映画の撮影が予定されており、現在、制作サイドと内容等について打ち合わせを行っているところです。

5 旧美祢高等学校の跡地利用について

問 旧美祢高等学校の跡地利用について、お尋ねします。

答 現在は、県の公共施設管理の方向に委ねた状況です。今後も適切に関係所管課と連携を取り合い、県の動向の把握に努めたいと思います。



(無所属)

すぎやま たけし
杉山 武志 議員

1

告知放送(緊急放送)とサイレンの吹鳴について

問 自然災害を含め、緊急を要する事態に直面した際、行政はどのように市民に周知を図られるのでしょうか。

答 災害時の市民への情報伝達手段について、災害時情報伝達手段検討業務を今年度事業として実施し、課題の解消に取り組めます。

新たな体制が整うまでの間は、現状の施設設備等を最大限に活用し、市民の災害時の安全確保のため、情報周知に努めたいと考えています。

問 緊急時や災害時には、市民と情報を共有する必要があり、市民は情報を受けることにより安心すると考えます。

災害時の第一報となるサイレンの吹鳴について、どのようにお考えでしょうか。

答 災害発生時のサイレン吹鳴は、市民への災害発生時の周知の手段の一つとして有効という認識は持っていますが、活用については、前述の検討業務の中で、今後検討してまいります。

2

ふるさと納税について

問 美祢市のふるさと納税の現状についてお伺いします。

答 平成30年度のふるさと納税額は6,185万円で、対前年度比約106%、寄附者数は対前年度比約107%となっています。

本市の返礼品で受注が多いものは、厚保栗、肉類が総注文数の53%を占めています。

特に厚保栗は、受注が多いものの需要に応えきれない状況が問題となっています。

3

世界ジオパーク登録申請について

問 美祢市が世界ジオパークに認定された場合、可能となるもの、不可能となるものについてお伺いします。

答 世界各国で認知されているユネスコのロゴマークを、パンフレットやホームページ、ノベルティグッズなど、さまざまな場面で使用することが可能となります。

また、ジオパーク活動がSDGs(※)のような国際目標を目指しているとはいえ、法に規定された活動ではないため、新たな規制はないものと理解しています。

問 取り組みの現状と今後のスケジュールについてお伺いします。

答 ユネスコ世界ジオパーク国内推薦審査及び日本ジオパーク再審査のため、本年7月28日から30日までの3日間、現地審査が行われます。

この審査を通過すると、令和2年度に、英語文書によるユネスコ世界ジオパーク申請書の書類審査が行われます。

令和3年度には、ユネスコ世界ジオパークの審査員による、Mine秋吉台ジオパークの現地審査が行われ、この結果を基に、令和4年度に登録の可否が最終決定されます。

用語解説

SDGs：Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略。

2015年9月の国連サミットで採択された国際社会共通の目標で、2030年までに達成すべき17のゴール(目標)と169のターゲット(具体的目標)で構成されている。地球上の誰一人として取り残さない社会を実現することを誓っており、国においても横断的な取り組みがなされている。



(新議会)

えびす や あき ひこ
戒屋 昭彦 議員

1 美祢市のまちづくりについて

問 市長就任後、美祢市の教育環境がどのように変わってきたか、お伺いします。

答 美祢市で教育を受けさせたい、美祢市で定住したいと思える教育環境の整備・充実を施策の柱に掲げ、他市・近隣市町にない特色ある教育機関の誘致により、教育環境充実・魅力をつくっていききたいと思っています。

問 教育環境・子育て環境を整備することで、若い人の定住が進み、人口減少に歯止めがかかるのでしょうか。

答 色々な施策を行っていますが、100%これだという施策があれば、集中して行なうべきだと思っています。

色々な対応、考えがあり、一つの施策では人口定住につながらないと認識しており、複合的に人口定住対策を打っていく必要があると考えています。

問 昨年の3月にお伺いした、林業大学校誘致の進捗状況について、再度お伺いします。

答 林業の担い手を育成する場をつくっていききたいということで、継続的に進めていききたいと思っています。

問 美祢市と市内高等学校との関わりについてお伺いします。

答 生徒が通いたくなるような魅力ある教育を実現するため、キャリア教育の一環事業として、「勤労感・職業感・価値感」をみずから形成、確立する機会の提供、地域産業を学び、地元での就業促進と地域発展につなげることを目的とした「高校生キャリアガイダンス地元の企業を知ろう in 美祢」の開催を予定しています。

また、広報「げんきみね。」8月号から、市内2校を紹介するページを設ける方向で調整しています。

2 内部統制の考え方について

問 市長が掲げられた目標について、どのように職員に伝達され、進捗状況を把握されているかについてお伺いします。

答 年度当初に部課長級職員を集めて訓示を行っています。市民の皆様と約束したこと、目指す都市像に向けた目標について、その年度に取り組むことを職員に伝え、その会議録を内部情報システムにより全職員で共有し、浸透を図っています。

伝達方法については、さらに検証を行い、最適な情報伝達手段を確立していきます。

問 庁内会議等の会議録の作成・保存についてお伺いします。

答 外部の方が参加されない会議については、会議の目的を明確にし、会議時間をおおむね1時間を目途に、できるだけタブレットを活用するなど、効率的な会議の運営を心がけています。

会議録については、必要事項と主な内容を簡潔に記録することを徹底しています。

全職員に周知すべき内容については、内部情報システムを活用して、周知に努めています。

問 職員の人材育成・教育の現状と今後についてお伺いします。

答 職員の研修受講の機会を設け、県で開講される研修、専門的な研修に職員を派遣するとともに、庁内においても各種研修を実施しています。

今後、効率的かつ能率的な業務遂行の手法や課題に的確に対応するため、柔軟な発想、知識、能力を養う人材育成を行ない、市政の効率的・効果的な運営につなげるため、民間企業との人事交流についても、新たな人材育成の方針として検討してまいります。



(純政会)

やま なか よし こ
山中 佳子 議員

1

インターナショナルスクールの誘致について

問 5年後を目途として市内にインターナショナルスクールを誘致するという計画の経済効果についてお伺いします。

答 この学校が開校された場合、市外から一定数の人口、とりわけ子育て世代の転入が見込まれます。詳細が決まっていない現時点においては、具体的な数値を算出することは難しいことですが、人口の増加に比例する経済効果は見込まれると考えます。

問 開校予定の場所として、閉校となった校舎を有効活用していただきたいと思います。ですが、どのようにお考えでしょうか。

答 市内では、少子化に伴い小中学校の統廃合を進めており、空き校舎の有効活用は重要かつ喫緊の課題と認識しています。

インターナショナルスクールの候補地としては、閉校となった校舎等を優先的に紹介していきたいと思います。

2

森林環境整備事業におけるバイオマス計画について

問 温室効果ガス排出の削減と環境への配慮も含めて、最近バイオマスが脚光を浴びてきています。バイオマス計画についてお伺いします。

答 森林環境譲与税を活用した森林環境整備事業は、新たな森林管理システムを活用し、市が中心的役割を果たして、森林の適切な経営管理を進めようというものです。

今後策定する森林環境整備事業の計画において、今までに経済的に不利等の理由で整備が行われてこなかった森林について適切に整備を行

うために、木質バイオマスの活用も重要であると考えており、計画をつくっていききたいと思います。

3

DMO (Destination Management/Marketing Organization) について

問

日本版DMOとは。

答

調整機能を備えた法人です。すなわち、地域の稼ぐ力を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する観光経営の視点に立ち、関係者と連携しながら観光地域づくりを実現するための戦略を策定・実施するための法人です。

問

美祢市のDMOの進捗状況についてお伺いします。

答

平成29年度からDMOに取り組んでおり、市内の宿泊、生産、流通と多様な事業者を対象に3回のワークショップを開催し、延べ64名の参加者がありました。

平成30年度には、先進的な団体から講師を招へいし、講義・座談会を開催し、データの必要性についての認識を深めました。

本年度は、一般社団法人美祢市観光協会をDMO候補法人と位置づけ、日本版DMOの形成・確立計画を策定します。その後は、観光庁に日本版DMO候補法人として登録申請することを目指しています。



森林整備の様子



(無所属)

すえ なが よし み
末永 義美 議員

1

本市における「8050問題」について

問 大人のひきこもりの長期高齢化による、家庭内での暴力や虐待、そして生活苦からの親子共倒れや孤独死等の原因として、深刻化する「8050問題」について、お伺いします。

答 「8050問題」とは、80歳代の親が50歳代のひきこもり状態にある子の生活の面倒を見ることであり、新たな社会問題となっています。

この対策のため、山口県では、「ひきこもり地域支援センター」を設置し、家族からの相談や家庭訪問を通じて支援を行っています。

問 昨年4月に施行された社会福祉法では、市が「8050問題」について、地域生活課題として総合的に相談に応じ、関係機関との連絡・調整などを行う体制づくりに努めなければならないと定義されています。

本市における「8050問題」の実態の把握など、どう捉えられていますか。

答 実態調査は、現在のところ行っていません。

まずは、現状の把握を行い、先進地事例はもとより、県内他市の状況等を総合的に判断し、対応してまいります。

2

「2025年問題」に求められる多様な支援について

問 75歳以上の後期高齢者が2,300万人を超えると予想される2025年には、少子化による人口減も加速し、市の税収減と地域経済発展にも悪影響を及ぼします。

また、医療費や社会保障費制度の疲弊等が新たな社会問題となるのが「2025年問題」です。

本市における「2025年問題」について、お尋ね

します。

答 2025年には、全国的な高齢化率は約40%に迫り、美祢市における高齢化率は46%を超えると予測されています。

団塊の世代が給付を受ける側に回ることにより、医療費や年金といった社会保障費の増大、さらに高齢化の進展に伴う要介護者の増加などが問題として挙げられます。

問 「2025年問題」の課題に取り組む医療と介護の連携と体制づくりや地域包括ケアシステムの構築への対策について、お伺いします。

答 本市の人口推計では、高齢者の増加が全国的な動向に比べ、通年前倒しの状況で進展することが示唆されており、本市における地域包括ケアシステムの構築は、喫緊の課題として捉え、現在、様々な事業に取り組んでいます。

高齢化対策として、地域包括ケアシステムの構築に欠かせない在宅医療と介護の連携事業を鋭意進めています。

3

介護老人保健施設グリーンヒル美祢について

問 介護老人保健施設グリーンヒル美祢について、介護医療院への機能転換を含め、施設として求める役割を再検証することについて、お伺いします。

答 3年後の申請手続きを目途に、介護医療院に向けての機能転換を進めるための整備をしていきたいと考えております。

4

高齢者福祉対策における成年後見制度の整備について

問 2040年までに、75歳以上の後期高齢者世帯やひとり暮らしの高齢者が全世帯の5割に迫る状況で、65歳以上の4人に1人が認知症もしくはその予備軍と推測されています。

自分自身の財産や身の回りの管理が難しくなる人が増え続ける現代、成年後見制度の整備についてお伺いします。

答 今年度、美祢市成年後見制度利用促進連絡協議会を設立し、来年度からの美祢市成年後見制度利用促進基本計画の策定、推進を目指しています。



(公明党)

おかやま
岡山たかし
隆 議員

1

伊佐公園グラウンド等への環境保全と支援策に関して



美祢市内には伊佐公園グラウンドをはじめ、運動公園や多目的広場などが多数あります。

しかし、伊佐公園グラウンド及びその周辺には、雑草や樹木・雑木などが繁茂し、憩いの場所にふさわしい状況ではないと感じられます。

管理体制はどのようなになっているのでしょうか。



美祢市都市公園条例は、都市公園の設置及びその管理に関して必要事項を定めています。

市内には9ヶ所の都市公園を設置し、伊佐公園及び秋芳北部総合運動公園は美祢市教育委員会が管理運営しています。公園内のグラウンド、駐車場の環境保全は職員が実施し、公園内のトイレ清掃は外部委託しています。



周辺の樹木の頭打ちや雑木の伐採を十分に行ってこなかったことで、グラウンド周辺がうっそうとして、公園内にあるトイレ周辺も薄暗い環境となっています。

地元ボランティアの方々によって、公園内の草刈などがされていますが、高齢化に伴って参加者が減少し、十分に清掃活動が行き届いていないと言われています。

そこで、年2回の市民総社会参加活動の際、各地域から3名程度が伊佐公園グラウンドに集い清掃活動をすれば、みんなが喜んで集える公園グラウンドになると思いますが、どのように考えてでしょうか。



現在、多目的グラウンドなどの社会体育施設周辺の環境保全は、地元団体を含めた委託により実施しています。

しかし、伊佐公園や秋芳北部総合公園は、大会などで使用している関係上、施設利用団体などに環境保全への協力は依頼していません。

ご提案の清掃活動について、一つの案として検討し、今後の環境保全に生かしていきたいと思っています。

2

園児・児童等の命を守る安全対策の強化に関して



茨城県牛久市は、災害や交通事故などの危険要因から児童の命を守るため、市内在住の全小学生に通学用ヘルメットを無償配布されたそうです。

園児の列に車が突っ込むといった死傷事故などが相次いでいることから、ヘルメットの無償配布と着用について、お尋ねします。



危険箇所の抽出と対応については、国からの通達もありましたが、歩行中のヘルメット着用については、国や県からも通知がありません。

登下校時のヘルメット着用について、学校や保護者の意向や要望を聞くとともに、他市町の実況等も勘案し、検討したいと考えています。



公園内が雑草や雑木で覆われている様子
(伊佐公園グラウンド)



(日本共産党)
みよし むつこ 議員
三好 睦子

1

教育環境の充実について(通学費について)

問 美東中学校の通学費は1カ月4,320円、年間51,840円必要です。

小・中学校が合併した時に、スクールバス等の対応で通学費の保護者負担はありません。美東中学校は4地区が統合して、美東町1校になっています。

通学費の質問について「30年をめに」「31年度の早い時期に、条例改正案として議会に提出していきたい」とのことです。

合併して11年が経過した現在、美祢市内で教育環境の大差があってはなりません。早い時期とは、一体いつなのかお尋ねします。

答 通学方法の素案に基づく運用について、再度協議していく中で、通学困難区の判断基準や、学校統合の特例支援に対し、統合がない場合の通学距離に一部不公平感の発生等、再度検討する問題があります。

遠距離、通学困難、統合等別々の制度で運用は、公平性を担保しつつ、一本化するためにもうしばらく時間をいただきたいと思います。

問 もうしばらくとか、早い時期とか曖昧ですが、いつまで待つのでしょうか。

答 制度全体の統一化・整合性を検討・再考に時間がかかっています。時限立法的な補助制度を含め、前向きに検討し年度の早い時期に答弁します。

保護者説明会等を経て、議員の皆さんのご理解を求めながら、12月の議会には条例改正案を提出したいと考えています。

2

地域経済の活性化、雇用の拡大について(循環型経済)

問 「全国過疎シンポジウム in 山口」の講義の中で、住民の所得が増えないと、活性化も人口増加もない。地域外から補助金、給与などの所得があっても、その大部分が市外に出てしまう構想では、地域の所得は増えないということでした。

美祢市内で経済が循環しているか、経済の動向を調査し対策を考える必要があると思います。経済の動向調査についてお尋ねします。

答 地域経済の動向について、現状把握は重要で、国・県・市においても、多くの統計資料があります。

これらの有効活用を図り、さらに補足調査が必要と判断された際に、目的に応じたアンケートや聞き取り調査を行うことが最良であると考えています。

問 経済を循環させ、収入を得る仕組みについて、道の駅、直売所、サービスエリア、スーパーマーケット等の店頭で地元農産物の販売拡大で収入を得る仕組みについてのお考えと、学校給食や市の関連施設で農産物等の地産地消の取り組みについてお尋ねします

答 「ぶちうまやまぐち推進事業」で、販売協力店を拠点とした地元農産物の販売促進強化に、県と協力して取り組んでいます。

ニーズに対応した高品質化や高付加価値化に努めつつ、生産性の向上を図ることにより、消費者、実需者に選択される農産物の生産販売力を強化し、農業生産全般にわたる施策を総合的、戦略的に推進し、農業所得を得る仕組みを構築したいと考えています。

宣伝等で地域産業の振興の活性化を図り、流通コストを削減し、農業所得の向上と安定を図っています。

美祢市立病院、美東病院また介護施設等につきましては、地産地消を推進していくという立場です。

令和元年度第1回議会報告会を開催しました

令和元年度第1回議会報告会を、6月27日（木）綾木公民館、28日（金）美祢市民会館の2会場で開催しました。

参加された方から、さまざまな質疑・ご意見等をいただきました。市へのご要望は執行部へ伝えるとともに、今後の議会活動の参考にさせていただきます。

問 観光収入を増やす必要があるのではないのでしょうか。

答 秋芳洞の入洞者は減少傾向にあります。秋芳洞の入洞者数を増やすため、今年度「秋吉台・秋芳洞地域観光地再生事業」に取り組むこととしています。

問 今まで、議員から施策の提案などをされたことがあるのでしょうか。

答 各議員が一般質問などを通じて、執行部へ様々な提案をしてきています。

議会・議員に政策立案能力が求められており、美祢市議会においても重点を置いています。

議会として、執行部にもっと提言していけるように、我々も勉強していかなければならないと思っています。

問 観光事業の目玉として、博物館の整備が必要ではないのでしょうか。リピーターが増えるような形でのリニューアルを早目にされてはいかがでしょうか。

答 教育委員会で、博物館のあり方について検討されているようです。議会としても、この件についてはいろいろと提言していかなければならないと思っています。

問 移動市長室の来訪者数や内容は、どこへ行けばわかりますか。

答 移動市長室の内容について、逐次議会への報告はありませんが、記録は残されるよう申し入れをしています。

<意見・要望>

- ・市長は、公民館活動を地域の拠点として進めていくと言われているが、目に見える形での公民館活動に関する予算がないように思える。
- ・ジオパークの「黒」が取り残されているように感じる。
- ・女性職員のいない公民館があり、施設の利用や相談等がしづらいといった声がある。女性職員の配置について検討していただきたい。
- ・限られた財源ではあるが、議員からも各種いろいろな提案をしていただき、美祢市の活性化に努めていただきたい。
- ・遠距離通学費の件について、そろそろ結論をだしていただきたい。

※紙面の都合上、一部のみの掲載となります。ご了承ください。

広報の班回覧変更について

本年6月から、市報等一部を除き、これまで全世帯に配布していた文書を順次班回覧に変更していく旨の周知がされました。

市民から「戸別配布に戻してほしい」といった要望もあり、議会としても6月定例会において、広報のあり方について議論しました。

今後の広報の配付方法については、7月4日の本会議で市長より「地域においてはそれぞれの歴史や文化、住民とのつながりなど、さまざまな事情があることから、地域の主体的、自立的な判断に委ねるべき」、「従前の方式に戻して、地域の判断を尊重させていただければ」との発言がありました。

議会を傍聴してみませんか

美祢市議会では、本会議、委員会を公開しています。

会議の当日、市役所3階議会事務局で、傍聴人受付簿に記入するだけの簡単な手続きで傍聴することができます。

市政のことをよりよく知るためにも、ぜひ、議会の傍聴にお越しください。

<傍聴の際に守っていただくこと（抜粋）>

- ・傍聴席での飲食、喫煙は禁止です。
- ・声を出したり拍手をしたりしないでください。
- ・許可なく撮影、録音はできません。

【お問合先】 〒759-2292 美祢市大嶺町東分326-1 美祢市議会事務局
TEL：0837-52-1117 FAX：0837-52-1180
MAIL：gikai@city.mine.lg.jp



市民の皆さん、ぜひ傍聴にお越しください。

(8月27日(火)議会運営委員会日程決定)

日 程	時 間	内 容 (予 定)
9月 3日(火)	10:00	本会議 (初日)
9月 4日(水)	10:00	本会議 (一般質問)
9月 5日(木)	10:00	本会議 (一般質問)
9月 6日(金)	10:00	本会議 (一般質問予備日)
9月 9日(月)	9:30	総務民生委員会
9月13日(金)	9:30	教育経済委員会
9月17日(火)	9:30	予算決算委員会
9月26日(木)	10:00	本会議最終日

本会議最終日に、平成30年度一般会計・特別会計の決算議案が提出される予定です。この議案を審議するため、会期の延長を行う予定です。

編集後記

9月を迎え、田んぼの稲穂も色づき収穫もうすぐです。お米を作るのに88回の手がかかるといわれていましたが、最近は機械化が進み、かつてほど手がかかりません。しかし、生産費を下回る米価では再生産の意欲が失われてしまいます。

「日本の食糧は日本の大地から」秋の黄金の稲穂が波打つ風景はいつまでも、残したいものです。

(三好)

議会だより編集委員会

委員長	末永 義美
副委員長	三好 睦子
委員	安富 法明
〃	山中 佳子
〃	岡山 隆
〃	戎屋 昭彦